

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【公開番号】特開 2009-301933 (P2009-301933A)
【公開日】平成 21 年 12 月 24 日 (2009.12.24)
【年通号数】公開・登録公報 2009-051
【出願番号】特願 2008-156665 (P2008-156665)
【国際特許分類】

H 0 1 J 29/28 (2006.01)

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 29/28

H 0 1 J 31/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 23 日 (2011.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板と、

前記基板上に行列状に位置する複数の発光部材と、

各々が少なくとも 1 つの前記発光部材を覆い、行列状に位置する複数の電極と、

列方向において隣接する前記電極間に位置し、行方向及び該列方向に隣接する電極同士を接続する行方向に延びるストライプ状の抵抗体と、

を有する前面基板であって、

前記抵抗体との接続部における前記行方向に隣接する電極同士の行方向の離間距離は、前記発光部材を覆っている部分における前記行方向に隣接する電極同士の行方向の離間距離よりも大きいことを特徴とする前面基板。

【請求項 2】

前記列方向に隣接する電極同士の列方向の離間距離は、前記発光部材を覆っている部分における前記行方向に隣接する電極同士の行方向の離間距離よりも大きい請求項 1 記載の前面基板。

【請求項 3】

複数の電子放出素子を備えた背面基板と、

請求項 1 または 2 に記載の前面基板と、

を有し、前記電子放出素子から放出された電子によって前記発光部材が発光する、画像表示装置。